

○ 微生物課

感染症や食中毒に係る病原微生物の細菌検査、食品衛生法に基づく収去検体の細菌検査、水道原水や産業廃棄物最終処分場放流水等の細菌検査を実施しました。また、感染症を予防し、まん延防止を図るため、感染症に関する情報を公開する佐賀県感染症情報センターを運営し、その業務の1つである菌株収集事業として地域の中核医療機関等から提出された菌株の血清型別の検査を行っています。

令和6年度の検査状況については表1に示すとおりであり、総検査数は4,920件でした。

表1 細菌検査件数(令和6年度)

検査区分	検 体 数				延べ検査項目数
	行政検査	依頼検査	調査研究	小計	
感染症に係る検査	446			446	1,596
食中毒に係る検査	199			199	1,268
食品の収去検査	278			278	602
産業廃棄物最終処分場水質検査	9			9	9
水道水質管理目標設定項目検査	5			5	5
水道原水の汚染実態把握検査	1			1	2
菌株収集			256	256	1,435
佐賀県感染症発生動向調査			1	1	3
計	938	0	257	1,195	4,920

1 行政検査

(1) 感染症に係る検査

一類感染症に係る検査はありませんでした。

二類感染症に係る検査は、結核菌確認のPCR検査を30検体、VNTR検査を30検体実施しました。

三類感染症に係る検査は、腸管出血性大腸菌感染症の検査を25事例342検体、細菌性赤痢の検査を1事例9検体実施しました。その結果、腸管出血性大腸菌 O157 25検体、O26 12検体、O111 1検体、O103 3検体、O148 1検体、赤痢菌 *S. flexneri* 1検体を検出しました。

四類感染症に係る検査は、レジオネラ症患者5事例の喀痰や利用施設について、浴槽水やシャワー水など30検体が搬入され、5検体からレジオネラ属菌を検出しました。

五類感染症に係る検査は、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の検査を14事例19検体、劇症型溶血性レンサ球菌の検査を5事例6検体実施しました。その結果、カルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌(carbapenemase-producing *Enterobacterales*:CPE)が10検体で、内訳がIMP-1型9検体、NDM型1検体でした。また、A群溶血性レンサ球菌5検体、G群溶血性レンサ球菌1検体を検出しました。

(2) 食中毒に係る検査

食中毒疑いの検査依頼は 25 事例あり、199 検体(便、食品、ふき取り、水)1268 項目の検査を実施しました。その結果、*Kudoa septempunctata* が 2 事例 7 検体、*Campylobacter jejuni* が 1 事例 1 検体、腸管出血性大腸菌 O157 が 1 事例 2 検体検出されました。

(3) 食品の収去検査

佐賀県食品衛生監視指導計画に基づき 278 検体について 602 項目の検査を実施しました。衛生規範は、令和 3 年 6 月 1 日薬生食監発 0601 第 3 号「食品衛生法等の一部を改正する法律の施行に伴う営業等の取扱いについて」により廃止されましたが、当該基準に準じて検査を実施しました。その結果、成分規格不適合が 1 検体、旧衛生規範不適合が 2 検体ありました。

(4) 産業廃棄物最終処分場水質検査

産業廃棄物最終処分場等水質モニタリング調査実施要領に基づき 9 検体の大腸菌群数検査を実施し、水質の規制を超える検体はありませんでした。

(5) 水道水質管理目標設定項目検査

水道水質管理目標設定項目検査実施要領に基づき 5 検体の従属栄養細菌検査を実施し、目標値を超える検体はありませんでした。

(6) 水道原水の汚染実態把握検査

クリプトスポリジウム等検査実施要領に基づき簡易水道原水 1 検体の指標菌検査(大腸菌、嫌気性芽胞菌)を実施し、陰性でした。

2 調査研究

(1) 菌株収集

医療機関検出情報及び菌株収集実施要領に基づき、医療機関からA群溶血性レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*) 18 株、サルモネラ属菌 75 株、下痢原性大腸菌 163 株収集し、計 1,435 項目の検査を行いました。

A群溶血性レンサ球菌についてはT型別検査を、サルモネラ属菌については生化学的検査及び血清型別検査を、下痢原性大腸菌については血清型別及びPCR法による病原因子(VT1、VT2、LT、ST、invE、eae、aggR、afaD、astA)の検査等を実施しました。

事例・資料編:菌株収集検査結果(令和 6 年度) 参照

(2) 佐賀県感染症発生動向調査事業

佐賀県感染症発生動向調査病原体検査指針に基づき、A 群溶血性レンサ球菌疑い患者の検査を 1 件実施し、T 型別 T-B3264 の A 群溶血性レンサ球菌を検出しました。

(3) パルスネット研究班九州ブロック

食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究に参加しました。(九州各県地方衛生研究所及び国立感染症研究所と共同)

3 研修・指導

(1) 感染症にかかる外部精度管理調査

佐賀県感染症予防計画に基づき、県内の臨床検査を行う機関の感染症法に係る微生物の検査精度の維持向上を図ることを目的に、細菌検査を行う 12 施設を対象に外部精度管理を実施しました。

事例・資料編:感染症にかかる外部精度管理調査概要(令和 6 年度) 参照

4 感染症情報センター

感染症の予防及びまん延防止を目的に、患者情報及び病原体情報を収集・分析してその結果を提供する佐賀県感染症情報センターを運営しています。

(1) 感染症発生動向調査事業

佐賀県感染症情報センター運用実施要領に基づき、病原体情報を集計・分析し、全国情報と併せた佐賀県感染症発生動向調査週報(案)を毎週作成しました。

感染症の情報発信として、佐賀県感染症情報センターホームページを運営し、週報をはじめとする感染症情報を毎週更新し掲載しました。また、佐賀県感染症発生動向調査週報を、各定点医療機関、市町衛生担当課、医師会等関係機関等にメール送付しました。

(2) 医療機関検出情報

医療機関検出情報及び菌株収集実施要領に基づき、県内 10 ヶ所の医療機関等から病原体の検出情報を提出していただき、医療機関病原体検出情報として毎月集計し、還元しました。また、1 年分のデータを集計し「佐賀県の感染症」として感染症情報センターホームページに掲載しました。

事例・資料編:佐賀県における医療機関検出情報(令和 6 年度) 参照

5 外部精度管理

検査の信頼性確保を目的に、国又は国が適当と認める者が行う精度管理事業等に参加しました。

(1) 2024 年度食品衛生外部精度管理調査 一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所主催

- ・腸内細菌科菌群検査(生食用食肉(内臓肉を除く牛肉))
- ・黄色ブドウ球菌検査(加熱食肉製品(加熱後包装))
- ・大腸菌群検査(加熱食肉製品(包装後加熱))

(2) 令和 6 年度厚生労働省外部精度管理事業

- ・課題1 腸管出血性大腸菌の遺伝子検査
- ・課題3 コレラ菌の同定検査

(3) 令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」

分担研究「結核菌型別分布における精度保証」

(4) 令和 6 年度厚生労働科学研究補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」 レジオネラ属菌検査

UKHSA レジオネラ Isolation 精度管理プログラム

- (5) 厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究」

令和6年度パルスネット九州ブロック精度管理事業